

APC[®]

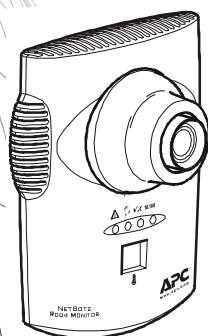
by **Schneider** Electric

取り付け／ クイック設定

NetBotz[®] Room Monitor 455

NBWL0455

NBWL0456





This manual is available in English on the enclosed CD.

Dieses Handbuch ist in Deutsch auf der beiliegenden CD-ROM verfügbar.

Este manual está disponible en español en el CD-ROM adjunto.

Ce manuel est disponible en français sur le CD-ROM ci-inclus.

Questo manuale è disponibile in italiano nel CD-ROM allegato.

本マニュアルの日本語版は同梱の CD-ROM からご覧になれます。

Instrukcja obsługi w języku polskim jest dostępna na CD.

O manual em Português está disponível no CD-ROM em anexo.

Данное руководство на русском языке имеется на прилагаемом компакт-диске.

您可以从包含的 CD 上获得本手册的中文版本。

동봉된 CD 안에 한국어 매뉴얼이 있습니다 .

目次

はじめに 1

製品の説明	1
本文書の概要	2
その他のマニュアル	2
追加オプション	3
InfraStruXure 認定	3

物理的概要 4

前面	4
背面	5

パッケージ内容の確認 6

据付 8

NetBotz 455 の取付	8
配電盤への取付	8
壁面取付	9
天井取付	10
ラックへの取付	11

ネットワークへの NetBotz 455 の接続

Power-over-Ethernet (PoE) インジェクタ	12
PoE 対応のハブまたはスイッチ	12

センサとセンサポートの接続

A-Link ポートへのセンサとセンサポッドの接続

レンズの調整

.....

初期環境設定 16

概要	16
DHCP によるネットワーク設定の取得	16
シリアルコンフィギュレーションユーティリティによる	

ネットワークの設定	17
ワイヤレスネットワークデバイスのインストール . . .	19
APC Configuration Wizard	19
機器へのアクセス	20
概要	20
Administrator アカountのユーザ ID とパスワード . . .	20
Root アカountのユーザの ID とパスワード	20
パスワードの復旧	21
Basic View	21
Advanced View	22
APC クイック環境設定	22
機器の設定	23
Alert Actions の設定	24
アップグレードオプション 25	
ソフトウェア機能のアップグレード	25
ハードウェアのアップグレード	25
機器にポッドを追加する	26
USB モデムの接続	28
USB デジタル／IO デバイスの接続	28
APC Switched Rack PDU の接続	29
外部センサの接続	30
NetBotz 455 の手入れ 30	
仕様 31	

はじめに

製品の説明

American Power Conversion (APC®) NetBotz® Room Monitor 455 は、NetBotz セキュリティ／環境監視システムの中核となるハードウェア機器として機能します。NetBotz 455 は室内のどこにでも取り付けられ、内蔵カメラと内部センサで温度、湿度、エアフロー、モーションを監視します。さらに、温度、湿度、煙、ドア、振動、滴下の監視用センサ、およびサードパーティ製のドライ接点センサと 0 ～ 5 V センサを接続するための 4 つのセンサポートも含まれています。さらに、2 方向オーディオ、オーディオ検知、オーディオ録音にも対応しています。監視の範囲を拡げたい場合は、NetBotz センサポッドを 2 台まで追加することができます。

内蔵カメラは以下の特長を備えています。

- 最大解像度 1280 x 1024、24 ビットカラー、30 フレーム／秒を生成できる画像処理プロセッサ



注：最大フレームレートは、カメラのイメージャー（撮像器）が 1 秒間に作成できる画像の最大数を表します。実際のフレームレートは、利用できる帯域幅とその時点での解像度の設定により異なります。

- 画像サイズ：7.7 mm x 6.1 mm（対角、9.82 mm = 0.387 in）。
- 視角：全解像度で、64° (H) x 53° (V)。
- 調整や交換が可能な業界規格の CS マウント型レンズ。CS マウント型の採用により、数百種にわたる汎用／専用レンズを使用することができます。

要注意： 本品には画像記録機能が備わっており、ソフトウェアを介してこの機能は有効になります。この画像記録機能を不適正に使用した場合、ユーザは民事および刑事罰の対象となる場合があります。かかる機能の使用に適用される法律は管轄区域により異なり、場合によっては、特に被写体本人から書面による明確な同意を要することがあります。関係法規を遵守し、且つプライバシーおよび人格に関する一切の権利を厳格に守ることはユーザ単独の責任となります。本ソフトウェアを違法な監視、観察の目的で使用することは、エンドユーザソフトウェア使用許諾契約に反する不正使用とみなされ、ユーザのそれ以降のソフトウェア使用権が即時終結する結果となります。

本文書の概要

『*NetBotz Room Monitor 455 Installation and Quick Configuration Manual* (NetBotz Room Monitor 455 インストール／クイック環境設定マニュアル)』では、NetBotz Room Monitor 355 の据付方法、この機器へのデバイスの接続方法、およびネットワークの設定方法を説明しています。本マニュアルの環境設定手順を実行すると、ソフトウェアインターフェイスを介してシステムにアクセスし、システムの他の環境設定を行って環境監視を開始できるようになります。

その他のマニュアル

別途に記載がある場合を除き、下記の文書が用意されています。これらの文書はアプライアンスに付属の CD に収容されています。また APC Web サイト (www.apc.com) の当該製品のページからもアクセスできます。検索フィールドに目的の製品の名称または部品番号を入力すると、該当の製品のページを容易に検索できます。

NetBotz 機器ユーザズガイド NetBotz システムを次の機器のいずれかと併用する場合の使用、管理、環境設定の全手順が詳しく記載されています：NetBotz Room Monitor 355 (NBWL0355、NBWL0356)、NetBotz Rack Monitor 450 (NBRK0450)、NetBotz Room Monitor 455 (NBWL0455、NBWL0456)、または NetBotz Rack Monitor 550 (NBRK0550)。

追加オプション

NetBotz 455 には次のオプションがあります。それぞれのオプションの詳細については、お買い上げいただいた APC 製品の営業担当または販売店までお問い合わせください。

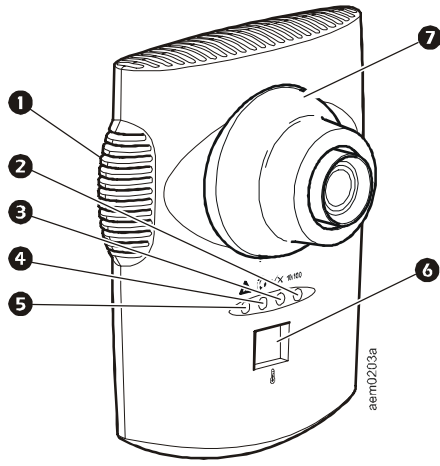
- NetBotz Camera Pod 160 (NBPD0160)
- NetBotz Rack Sensor Pod 150 (NBPD0150)
- NetBotz Room Sensor Pod 155 (NBPD0155)
- Temperature Sensor (AP9335T)
- Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH)
- Temperature Sensor with Digital Display (AP9520T)
- Temperature/Humidity Sensor with Digital Display (AP9520TH)
- NetBotz Spot Fluid Sensor (NBES0301)
- NetBotz Door Switch Sensor for Rooms or Third Party Racks (NBES0302)
- NetBotz Door Switch Sensor for APC Racks (NBES0303)
- NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304)
- NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)
- NetBotz Vibration Sensor (NBES0306)
- NetBotz Smoke Sensor (NBES0307)
- NetBotz USB-to-Serial Cable (NBAC0226)
- NetBotz Sensor Pod 120 (NBPD0122)
- NetBotz Camera Pod 120 (NBPD0121)

InfraStruXure 認定

この製品は、APC InfraStruXure[®] システムに適合していると認定されています。

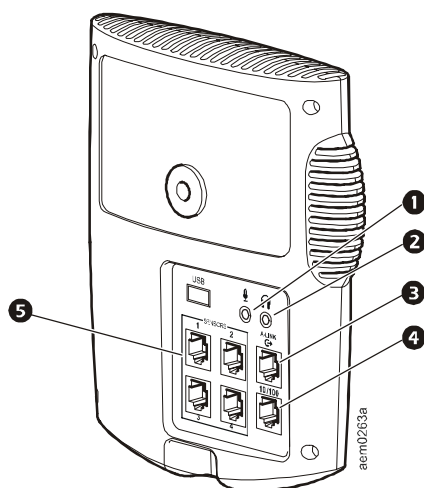
物理的概要

前面



	品目	説明
①	温度／湿度／エアフロー検知箇所	温度、湿度、エアフローの各センサの検知用開口部です。
②	ネットワークリンク LED	ネットワーク接続の状況を示します。点滅してネットワークのトラフィックを表します（緑：10 Mbps で接続、黄：100 Mbps で接続）。
③	電源 LED	装置が受電しているかどうかを示します（緑：受電中、消灯：受電なし）。
④	カメラ LED	点滅を繰り返しているときは、内蔵カメラが作動中です。
⑤	アラート LED	システムのアラート状況を示します。発生しているアラートが1つのみではない場合、最も重大なものが表示されます。 • 8 秒ごとの点滅 — 情報提供 • 4 秒ごとの点滅 — 警告 • 2 秒ごとの点滅 — エラー • 毎秒ごとの点滅 — 重大な故障 • 1 秒につき 2 度の点滅 — 障害
⑥	温度表示	• 現在の温度を摂氏または華氏で表示します（表示範囲は 0 ～ 99）。これは内部温度センサの値です。温度が 99 を超えた場合は、99 の表示のまま点滅します。 • ユニットに最初に電源を入れた時点で固有の識別番号が 1 分間表示されます。 • アラート状況が発生すると、アラート LED と同じ回数で点滅します。 • ファームウェアのアップグレード中は、88 と表示されます。
⑦	レンズハウジング	内蔵カメラの焦点を調整するには取り外す必要があります。

背面



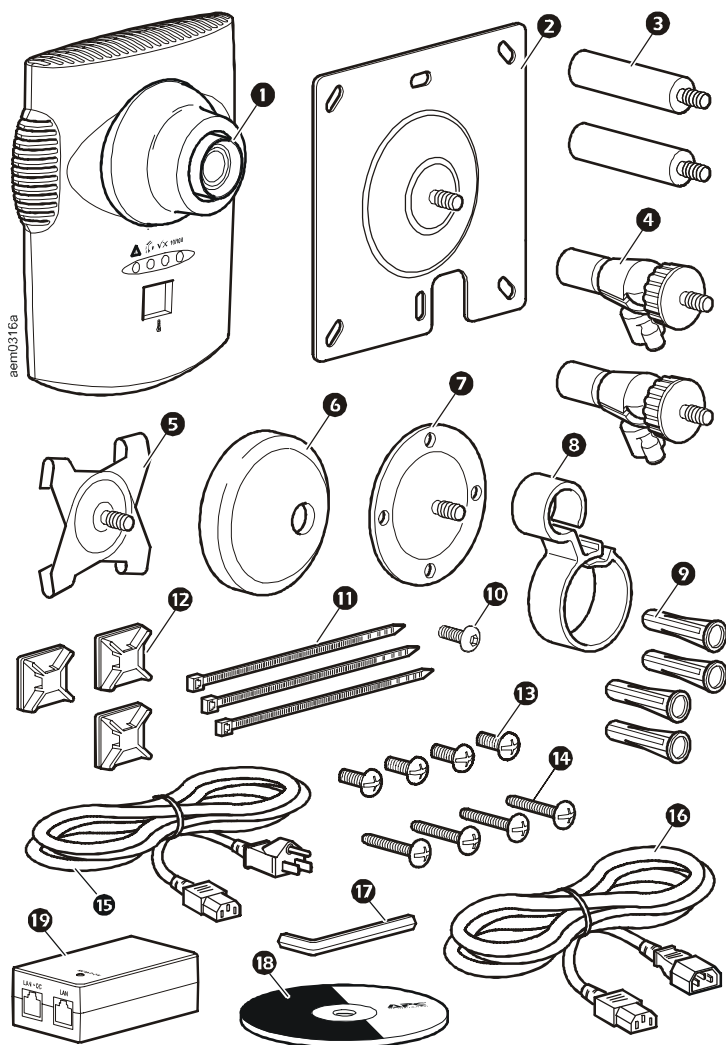
	品目	説明
①	マイクロフォン ジャック	オーディオ検知、オーディオ録音、2 方向オーディオをサポートしています。 マイクはケーブル長が 3 m までのものを使用できます。
②	スピーカジャック	2 方向オーディオをサポートしています。 スピーカのケーブル長は最大で 3 m です。
③	A-Link ポート	NetBotz Sensor Pod および Temperature/Humidity Sensor with Digital Display のカスケード接続に使用します。標準の CAT-5 ケーブルとストレートケーブルを介して接続された各デバイスに給電し、またデバイスの通信を可能にします。詳細については、「A-Link ポートへのセンサとセンサポッドの接続」(ページ 14) を参照してください。
④	10/100 Base-T ネット ワークポート	Power-over-Ethernet (PoE) を介して 10/100 Base-T ネットワーク接続ならびに電源を供給します。Status LED と Link LED がネットワークトラフィックを示します。 • Status LED — 起動時には緑とオレンジに点滅。ネットワーク接続状況を示します (緑の常時点灯: IP アドレス確立済み、緑の点滅: IP アドレス取得中)。 • Link LED — 点滅によりネットワークのトラフィックを表します (緑の点滅: 10 Mbps で動作中、オレンジの点滅: 100 Mbps で動作中)。
⑤	センサポート (x 4)	APC センサ、サードパーティ製ドライ接点センサ、およびサードパーティ製の標準の 0 ~ 5 V センサの接続に使用します。サードパーティ製のドライ接点状況センサの場合、NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304) が必要です。標準のサードパーティ製 0 ~ 5 V センサの場合、NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305) が必要です。

パッケージ内容の確認

パッケージの内容を点検し、同梱品が下記の一覧と一致しているか確認します。内容物の不足や破損がある場合は、APC または販売店にお問い合わせください。なお、輸送による破損が認められる場合には直ちに運送業者にご連絡ください。



製品の梱包器材は再利用することができます。保管して後ほど利用するか、または適切な手段で廃棄するようにお願いいたします。



番号	品目
①	NetBotz Room Monitor 455
②	配電盤用ブラケット取付板
③	延長アーム
④	ボールジョイント調整アーム
⑤	T バー取付板
⑥	ゴム製ブラケットカバー
⑦	取付板
⑧	ケーブルリテイナ
⑨	取付ネジ用ウォールアンカ
⑩	延長アーム位置決めネジ
⑪	203 mm タイラップ
⑫	粘着式ケーブルタイホルダ
⑬	13 mm 小ネジ (配電盤用)
⑭	19 mm タッピンねじ (壁面またはラック用)
⑮	1.8 m 長、NEMA 5-15P と IEC-320-C13 間用電源コード (NBWL0456 のみに同梱されています)
⑯	1.8 m 長、IEC-320-C13 と IEC-320-C14 間用電源コード (NBWL0456 のみに付属)
⑰	アレンレンチ
⑱	<i>Netbotz Appliance Utility CD</i>
⑲	Power-over-Ethernet (PoE) インジェクタ電源 (100-250 VAC IN、48 VDC OUT) (NBWL0456 のみに付属) — イラストに示されていません

据付

NetBotz 455 の取付

使用する条件に合う取付方法を選びます。次の事項を考慮してください。



注意： NetBotz 455 のポートには、必ず承認されたデバイスのみを本マニュアルの記載に従って接続してください。他のデバイスを接続すると機器が破損するおそれがあります。



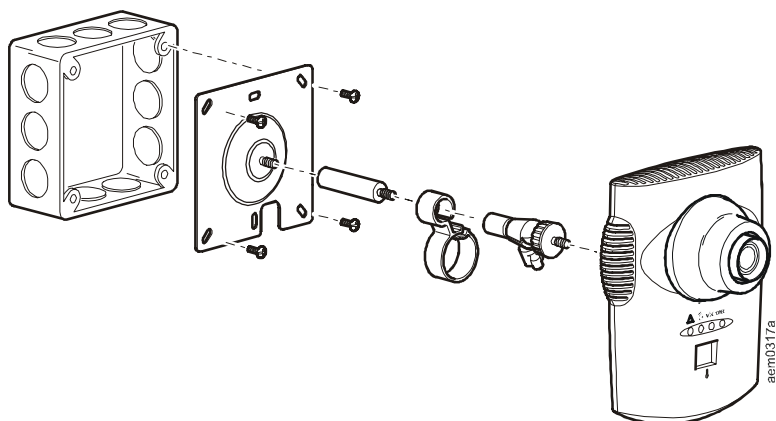
注： 直近のネットワークポートがどこにあるかを考慮して判断してください。

注： カメラの視角が遮られない場所を選びます。

注： 本機器に接続する予定の全センサのケーブル配線を考慮してください。

注： エアフローの方向がわかっている場合、NetBotz 455 が空気の流れの方向に直接向くように取り付ければエアフロー測定に最適になります。

配電盤への取付



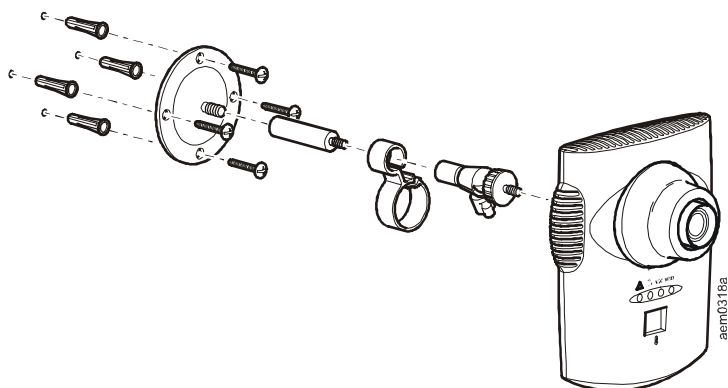
壁面取付



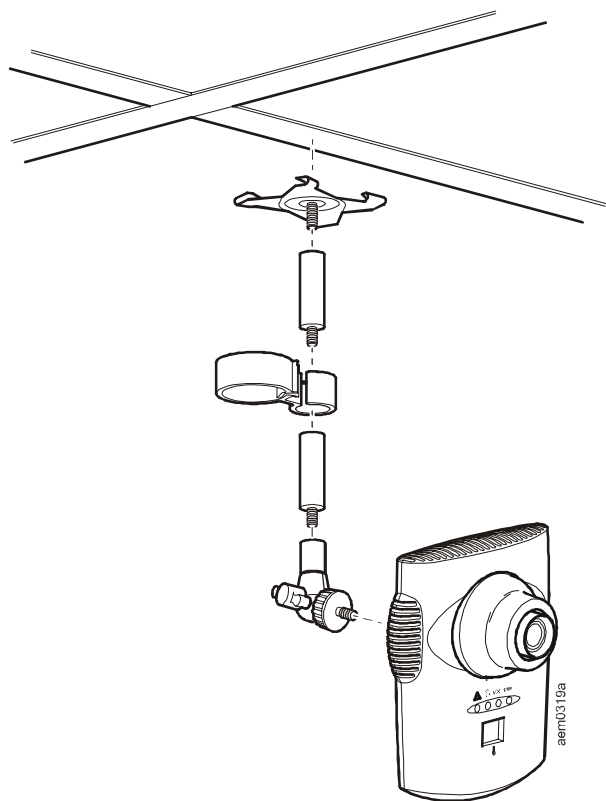
注：ウォールアンカ用に 4.76 mm の下穴を開けます。



注意：ネジを締めつけすぎないようにしてください。



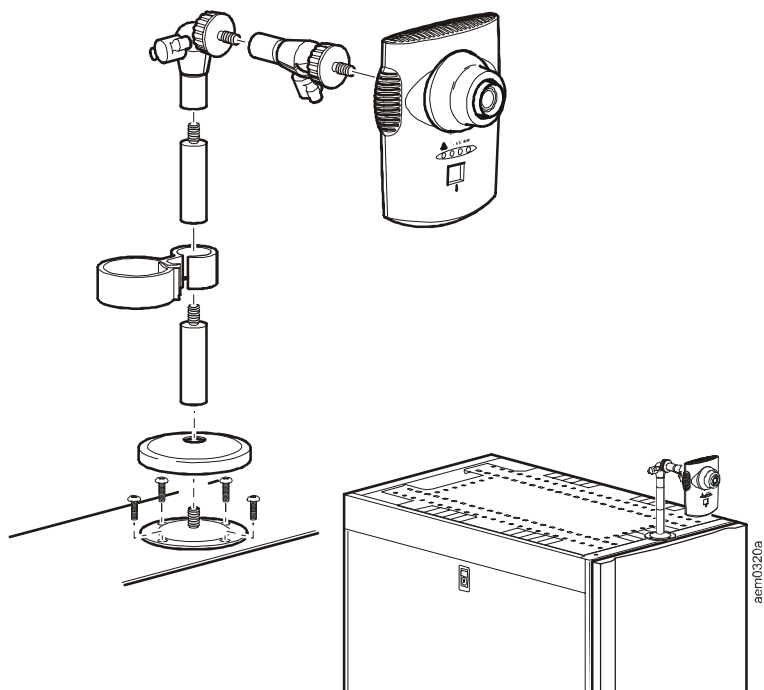
天井取付



ラックへの取付



注：32 番ドリルで 2.94 mm の下穴を 4 つ開けます。



ネットワークへの NetBotz 455 の接続

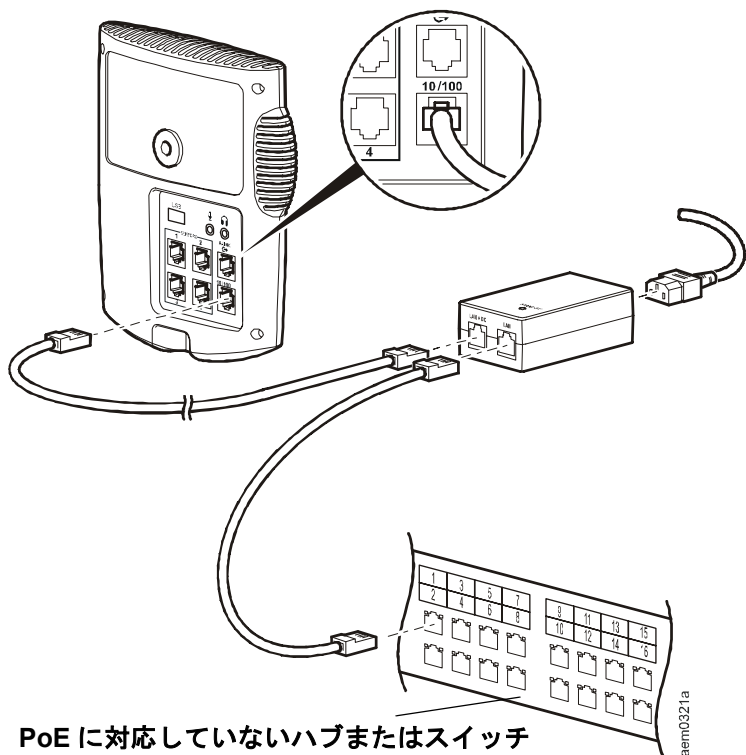
Power-over-Ethernet (PoE) インジェクタ



注意：回路の過負荷を避けるため、NetBotz 455 に印加する際は、事前にページ 31 の電気仕様を確認してください。



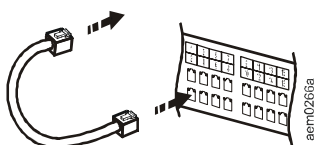
注意：この機器の接地は、壁コンセントに直接差し込んで接続するか、または電源タップを使用する場合であれば接地経路を確認して、必ず適切に行ってください。



PoE に対応していないハブまたはスイッチ

PoE 対応のハブまたはスイッチ

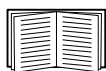
NetBotz 355 の 10/100 Base-T Network ポートへ



センサとセンサポートの接続

この手順は下記のセンサを対象とするものです。NetBotz 455 はこれらのセンサをサポートしています。接続はセンサポートから行います。

- Temperature Sensor (AP9335T)
- Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH)
- NetBotz Vibration Sensor (NBES0306)
- NetBotz Smoke Sensor (NBES0307)
- NetBotz Spot Fluid Sensor (NBES0301)
- NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305)
- NetBotz Door Switch Sensor for APC Racks (NBES0303)
- NetBotz Door Switch Sensor for Rooms or Third Party Racks (NBES0302)
- NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304)



A-Link ポートに接続するセンサ (Temperature Sensors with Digital Display [AP9520T] および Temperature/Humidity Sensors with Digital Display [AP9520TH]) の場合は「A-Link ポートへのセンサとセンサポッドの接続」(ページ 14) を参照してください。

APC 製およびサードパーティ製のセンサを、NetBotz 455 の **Sensors** と表記された 4 つのセンサポートに接続します。

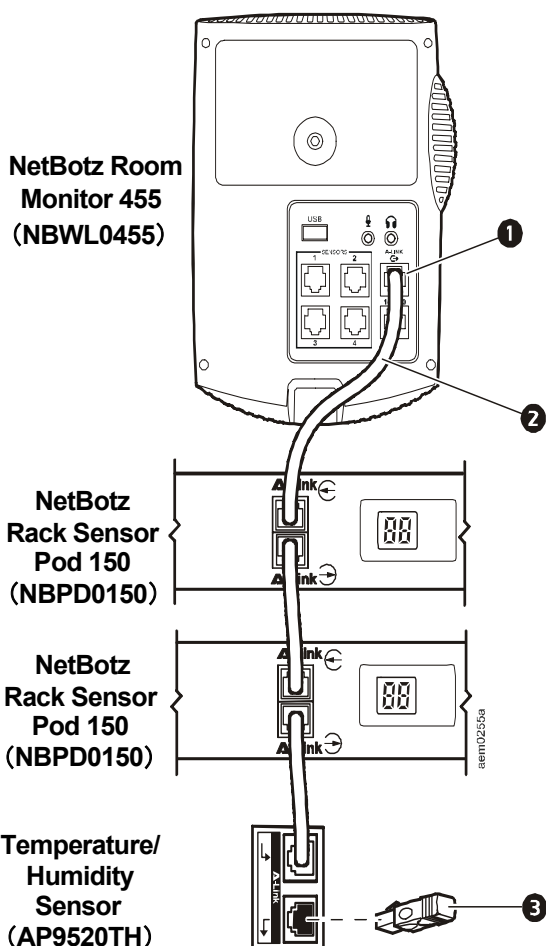
- サードパーティ製のドライ接点センサでは、NetBotz Dry Contact Cable (NBES0304) が必要になります。センサをケーブルに接続するには、センサの手順説明およびケーブルの手順説明に従ってください。
- 標準のサードパーティ製 0 ～ 5 V センサの場合、NetBotz 0-5 V Sensor Cable (NBES0305) が必要です。センサをケーブルに接続するには、センサの手順説明およびケーブルの手順説明に従ってください。
- センサケーブルの長さが足りない場合、RJ-45 連結器（一部のセンサには同梱されています）と標準の CAT-5 ケーブルを使用すれば、Temperature/Humidity Sensor (AP9335TH) または Temperature Sensor (AP9335T) なら 15 m まで、サポートされているその他のセンサなら 30.5 m まで延長できます。

A-Link ポートへのセンサとセンサポッドの接続

NetBotz Rack Sensor Pod 150 (NBPD0150) および NetBotz Room Sensor Pod 155 (NBPD0155) を組み合わせて 2 台までと、Temperature Sensors with Digital Display (AP9520T) および Temperature/Humidity Sensors with Digital Display (AP9520TH) を組み合わせて 8 台までをカスケード接続できます。この機器自体はカスケード接続できません。機器はシステムにつき 1 台ずつ使用します。A-Link は、APC 独自の CAN (Controller Area Network) バスです。A-Link 対応のデバイスは Ethernet デバイスとは互換性がなく、Ethernet バス上でハブやスイッチなど他のネットワークデバイスと一緒に使用することはできません。

この手順を実行する前に、カスケード接続しようとしているデバイスの取扱説明書の設置手順に従ってください。

1. センサとセンサポッドを図のよう
に機器に接続
します。
 - CAT-5 (または
同等の)
Ethernet パッチ
ケーブル (②)
を使用します。
**注意：クロス
ケーブルは使
用しないでく
ださい。**
 - 図のように IN
ポートと OUT
ポートに接続
します。
 - A-Link ケーブル
すべての合
計長が 1,000 m
を超えないよ
うにしてくだ
さい。
2. A-Link ターミ
ネータを、使用
していない
A-Link ポート (③)
に接続します。



レンズの調整

焦点と視角を正しく調節できるように、被写体の写り具合をよく確認しながら行ってください。

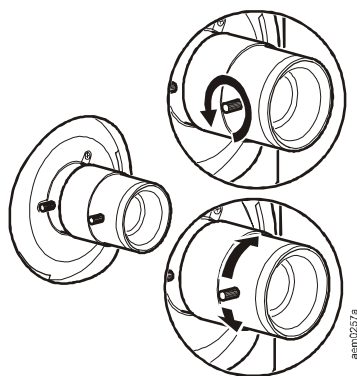
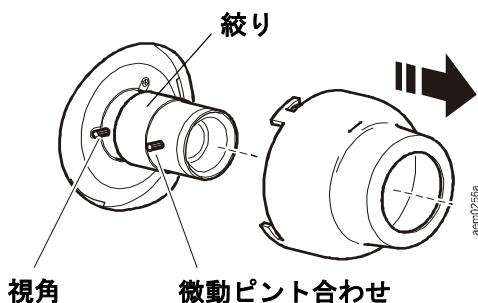
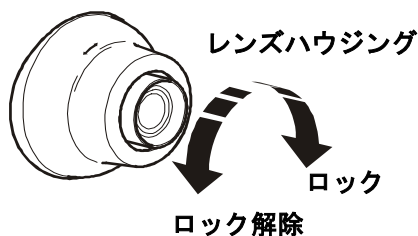
調整ネジにアクセスするには、ラッチが解放されるまでレンズハウジングを反時計方向に回してハウジングを外します。

レンズハウジングを元に戻すには、ハウジングをラッチにかみ合わせ、クリック音がするまで時計方向に回します。

絞りの調節は、開けるには絞りリングを時計方向に、絞るにはリングを反時計方向に回します。

焦点および視角の調節：

1. 調整ネジを反時計方向に回して緩めます。
2. レンズのリングを回して希望する位置にします。
3. 調整ネジを時計方向に回して締めます。



初期環境設定



注：システムの一部として APC InfraStruXure Central を使用している場合には、この章の手順は無視してください。詳細については、InfraStruXure デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

概要

機器をネットワーク上で動作させるには、まず次の TCP/IP 設定を行う必要があります。

- 機器の IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ



注：デフォルトゲートウェイがない場合は、この機器と同じサブネット上にあり常時動作しているコンピュータの IP アドレスを使用してください。トラブルシューティングが非常に少ない場合、この機器はデフォルトゲートウェイを使ってネットワークのテストを行います。

DHCP によるネットワーク設定の取得

デフォルト設定では、機器は DHCP を使用してネットワーク設定を取得するようになっています。この機器は、ネットワークに接続しユニットに電源を投入した時点で自動的に DHCP サーバとの通信を試み、30 秒間応答を待ちます。DHCP サーバでホスト名が提供されるように設定されている場合、機器によって、環境設定時に指定してあるホスト名あるいは「netbotzxxxxxxx」（ここでは、xxxxxxx はこの機器の MAC アドレスの下位 6 桁に相当）のどちらかを、DHCP サーバが認める IP アドレスに関連するホスト名として要求されます。これにより、追加の設定を行う必要なしに、Web ブラウザから「<http://netbotzxxxxxxx>」のアドレスで機器に接続できるようになります。機器はさらに、DNS サーバアドレス、DNS ドメイン、SMTP サーバアドレス、NTP サーバアドレスも DHCP サーバに要求します。

シリアルコンフィギュレーションユーティリティおよび他のプログラムのインストール

APC Serial Configuration Utility は、APC 機器でネットワーク設定を行うための Java[®] ベースアプリケーションです。Serial Configuration Utility、ならびに Advanced View（詳細表示ー NetBotz 機器の監視および管理用のコンソール）と Java Runtime Environment（JRE）のシステムへのインストールは、*NetBotz Appliance Utility CD* を使用して行います。



注：Advanced View アプリケーションで使用する Java Runtime Environment は、インストール対象のターゲットですでに適切な JRE がインストール済みであるかどうかに関わらず、必ずインストールします。

- **Microsoft® Windows® システム：**Windows XP (SP1 および SP2)、または Windows 2000 稼動のコンピュータにこのアプリケーションと JRE をインストールするには、この機器の環境設定と管理に使用するコンピュータの CD ドライブに *NetBotz Appliance Utility CD* を挿入します。NetBotz Installer が自動的に起動します。お使いのコンピュータで Autorun 機能を無効にしてある場合は、**スタート>ファイル名を指定して実行**の順に選択し、**名前**の欄に「x:\windows\install.exe」と入力 (x の部分には該当する CD ドライブのアルファベット文字を当てはめてください) し、次に **OK** をクリックします。画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。
- **Linux システム：**Red Hat® Enterprise Linux® 4 あるいは Fedora™ Core 4 以降で稼動するコンピュータにこのアプリケーションと JRE をインストールするには、この機器の環境設定と管理に使用するコンピュータの CD ドライブに *NetBotz Appliance Utility CD* を挿入します。必要に応じてドライブをマウントします。CD の Linux サブディレクトリから *install.bin* を実行します。例えば、Linux システムを使用していて CD ドライブを /mnt/cdrom としてマウントした場合は、次のコマンドを実行します：

```
sh /mnt/cdrom/linux/install.bin
```

画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを完了します。

シリアルコンフィギュレーションユーティリティによるネットワークの設定

Serial Configuration Utility での本機器の環境設定は次の手順で行います。

1. **スタート>プログラム>APC>Serial Configuration>Serial Configuration Utility** の順にクリックして、Serial Configuration Utility を起動します。
2. USB ケーブルの一方の端をコンピュータに、他方の端を NetBotz 機器の Console ポートに接続します。
3. NetBotz 機器に付属の電源コードを壁コンセントに差し込み、次に AC 電源インレットに接続します。



注：この電源コードは APC NetBotz 製品専用です。

機器に電源を入れると、緑の電源 LED が直ちに点灯します。ユニットは機器の環境設定により異なりますが、この後 2 分ほどで初期化を完了します。アラート状況がある場合は、赤の Alert LED が点灯します。**Next** をクリックして続行します。

4. Serial Configuration Utility は、APC 機器がネットワークに接続されているかを確認するため、自動的にシステムの COM ポートをスキャンします。APC 機器が検出されると、ウィンドウの Device 欄のリストに該当の機器が表示されます。環境設定したい機器のオプションボタンを選択し、**Next** をクリックして続行します。

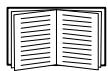


注：USB ケーブルを差し込んだポートに関連づけられている COM ポートを他のアプリケーションがその時点で使用している場合、このポートが使用不可である旨のメッセージが COM ポート脇の **Owner** 欄に表示されます。これを解決するには、この COM ポートを使用しているアプリケーションを閉じ、次に **Scan Serial Ports** をクリックします。

5. [Root Password] ウィンドウが開きます。この機器の管理者アカウントのパスワード（デフォルトのパスワードは「apc」です）を入力し、**OK** をクリックします。
6. 機器のネットワーク設定を行う上で DHCP を使用するかどうかを指定します。**Yes** または **No** をクリックし、**Next** をクリックして続行します。
7. ユーティリティで機器のスキャンが行われ、機器に保存されているネットワーク設定が表示されます。このネットワーク設定は、「Ethernet Card Settings」と「DNS Settings」に分かれています。
8. 「Ethernet Card Settings」を指定します。
- DHCP サーバが指定するネットワーク設定を使用するには、**Configure automatically via DHCP** を選択します。
 - この機器で使用されるネットワーク設定を指定するには、**Configure using these settings** を選択し、この機器の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを指定します。ユーザがファイアウォールの外からでもこの機器にアクセスできるようにするには、ネットワークの NAT Proxy サーバが使用する NAT Proxy 名または IP アドレスを指定してください。また、このインターフェイスで使用する速度とデュプレックスについても、値を指定するか、あるいはデフォルト設定を使用したい場合には「Auto Negotiate」を選択します。
9. 「DNS Settings」を指定します。
- DHCP サーバによって提供される DNS Settings 値を使用するには、**Use DHCP DNS Settings** のチェックマークをオンにします。
 - この機器で使用する DNS Settings を手動で指定するには、**Use DHCP DNS Settings** のチェックマークを外し、ドメインと DNS サーバの情報を指定します。
10. **Next** をクリックして各環境設定値を保存します。**Finish** をクリックして Serial Configuration Utility を閉じます。
11. APC 機器の IP 接続をテストします。Web ラウザを起動し、アドレス欄に機器の IP アドレスを入力してください。**Enter** キーを押します。APC 機器がネットワークにつながっていて適切に環境設定されていると、ブラウザウィンドウに Basic View が表示されます。

ワイヤレスネットワークデバイスのインストール

サードパーティ製のワイヤレスネットワークデバイスをインストールするには、そのデバイスを Ethernet ケーブルで機器の Ethernet ポートに接続します。APC では現在、ワイヤレス Ethernet ブリッジの D-Link DWL-G820 をサポートしています。



サードパーティ製ワイヤレスネットワークデバイスのインストールと環境設定を実行するには、該当するデバイスの取扱説明書を参照してください。

APC Configuration Wizard

Configuration Wizard を使用すると機器で以下の設定を実行できます。

- Domain Name Server Settings (ドメイン名サーバ設定)
- Clock and Calendar Settings (クロックとカレンダーの設定)
- Region Settings (地域設定)
- Administrator User ID and Password (管理者ユーザ ID とパスワード)
- E-Mail Settings (電子メール設定)
- E-Mail Alert Notification Recipients (電子メールアラート通知送信先)

Configuration Wizard では、最新バージョンの BotzWare が機器にダウンロードされます。

このウィザードによる機器の環境設定が完了すると、機器で、環境モニタリング (適切なエアフローの欠如や、温度、湿度、レベルの変化など) が行われ、カメラを設置したエリアのモーションの検出が開始されます。センサのいずれかでアラート状況が検出されると、事前に指定してある電子メールアドレスに電子メール通知が送信されます。

Configuration Wizard のすべての手順を完了するまで、あるいは **Don't Show Configuration Wizard Next Time** のチェックマークをオンにするまでは、APC 機器で Advanced View を使用するたびに Configuration Wizard が起動します。このウィザードを再度起動するには、Advanced View の **Tools** プルダウンリストから **Configuration Wizard** を選んでください。

機器へのアクセス

概要

ネットワークで機器が稼動するようになったら、Basic View または Advanced View を介して設定した機器にアクセスできます。

Administrator アカウントのユーザ ID とパスワード

NetBotz 機器の Administrator アカウントの値は事前に設定されています。このアカウントの User ID と Password は次のとおりです。

- User ID : apc
- Password : apc



注：セキュリティを強化するため、必ず Advanced View の Users のタスクを実行して Administrator アカウントのデフォルトの User ID と Password を変更してください。

Root アカウントのユーザの ID とパスワード

NetBotz 機器の Root アカウントの値は事前に設定されています。この Root アカウントが使用されるのは、USB Console Port を用いて実行される機器の通信目的、すなわち Serial Configuration Utility でネットワーク設定を指定する場合のみです。このアカウントのデフォルトの User ID と Password は次のとおりです。

- User ID : root
- Password : apc



注：Root アカウントの User ID は変更できません。セキュリティを強化するため、必ず Advanced View の Change Root Password の Tool でデフォルトの Root アカウントパスワードを変更してください。

パスワードの復旧

パスワードを忘れた場合

1. は装置の下部に記 AC 電源位置を確かめます。
2. ペーパークリップのような細いワイヤを使用してリセットスイッチを 10 秒間押し込みます。このようにすると、システムが再起動します。
3. システムが再起動したら、2 分以内に次のデフォルト値を使用してログインします：
 - Advanced View の場合：
 - User ID : apc
 - Password : apc
 - コンソールの場合：
 - User ID : root
 - Password : apc



注：リセットスイッチを押してから 2 分以内にログインしなかった場合はもう一度手順をやり直さなければなりません。

4. ログインの後に、セキュリティ強化のためパスワードを変更してください。

Basic View

Basic View では、現在のセンサデータ、画像キャプチャ、その他の機器データが HTML ベースのインターフェイスで表示されます。Basic View は機器の基本設定を行う際に使用します。Basic View から実行できる環境設定タスクは限られおり、それらは機器の初期インストールとセットアップで使用します。この表示形態では、Web ブラウザを通して機器の状態を参照することができます。

APC では以下の Web ブラウザをサポートしています。

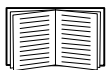
- Microsoft® Internet Explorer® 5.5 以降（Windows® オペレーティングシステムのみ）
- Firefox 1.x をサポートする Mozilla® ベースのブラウザ（全オペレーティングシステム）
- Netscape® 7.x 以降（全オペレーティングシステム）



注：その他一般に流通しているブラウザでも動作する可能性がありますが、弊社では十分なテストを行っていません。

Advanced View

Advanced View では、センサデータ、カメラ画像、その他の機器データが Java カスタムアプリケーションで表示されます Advanced View ではさらに、リレー出力アクションの生成や機器の全機能の設定を実行できます。Advanced View は単独型のアプリケーションで、ネットワークに接続されたサポート対象のコンピュータにインストールする必要があります。



Basic View または Advanced View の詳細については、『*NetBotz Appliance ユーザーズガイド*』を参照してください。

APC クイック環境設定

機器の環境設定、据付を済ませて電源投入したら、Advanced View で次の手順を実行します。

- **Configure Appliance Settings** : 機器の Clock、DNS、Region、Network Interface（ホスト名、NAT プロキシ、速度、デュプレックス設定）電子メールサーバ、および Proxy を設定します。
- **Configure Alert Actions** : Play Audio Alert（アラート音を鳴らす）および Primary E-mail Notification Alert（主要電子メール通知アラート）の各アクションを設定します。

機器の設定

Advanced View を起動し、次の Appliance Settings タスクを実行します。各タスクに対応するアイコンは、Configuration ペインの Appliance Settings 領域にあります。

1. **Clock** の設定を行います。デフォルト設定では、機器によってシステムクロックは NTP サーバと同期するようになっています。これらのサーバへのアクセスが得られない場合は、**Clock** アイコンをダブルクリックして、NTP サーバアドレスを指定するか、またはクロック設定を手動で行ってください。
2. **DNS** の設定を行います。**DNS** アイコンをダブルクリックし、DNS Domain および少なくとも 1 つの DNS Server アドレスを指定してください。
3. **Region** の設定を行います。**Region** アイコンをダブルクリックし、Locale と Time Zone を設定してください。US および Central Standard Time (中央標準時) がデフォルト設定になっています。
4. 機器のホスト名を指定します。**Network Interfaces** をダブルクリックし、機器のホスト名を入力してください。ユーザがファイアウォールの外からでも機器にアクセスできるようにしたい場合には、ネットワークの NAT Proxy サーバが使用する NAT Proxy 名または IP アドレスを指定してください。また、このインターフェイスで使用する速度とデブプレックスについても、値を指定するか、あるいはデフォルト設定を使用したい場合には「Auto Negotiate」を選択します。
5. **Administrator** アカウントに固有の User ID と Password を割り当てます。デフォルト設定では、Administrator アカウントの User ID と Password は両方とも **apc** になっています。セキュリティ強化のため、**Users** アイコン、**APC Admin Account** の順にダブルクリックし、Administrator アカウントに対して固有の User ID と Password を指定してください。
6. **E-mail Server** を設定します。ここで指定する電子メールサーバは、アラートの電子メール通知が送信される際に機器によって使用されるサーバです。**E-mail Servers** アイコンをダブルクリックし、次の項目を設定してください。
 - (オプション) **From** アドレス。
 - **SMTP server** フィールドに SMTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します (例、「mail.yourcompany.com」)。
 - 必要に応じて **Port** の値を指定してください (デフォルト設定はポート 25 です)。
 - 認証および証明書の照合には **SSL option** を選択します。これ以降の設定についてはネットワーク管理者に連絡してください。
 - **Test E-mail Server** をクリックして電子メールアドレスを入力し **OK** をクリックします。アラート状況が検出された場合はこのアドレスに電子メール通知が送信されます。テスト用の電子メール通知をこのアカウントで受信できることを確認した後、手順を続行します。
7. ネットワークで HTTP または Socks プロキシサーバを使用している場合は、**Proxy** アイコンをダブルクリックして Proxy 設定を行ってください。HTTP と Socks プロキシのどちらであるかが不明の場合はネットワーク管理者に確認してください。

Alert Actions の設定

センサでしきい値が範囲外になった場合に、Camera Pod 160 のヘッドフォン／スピーカジャックを通してアラート通知を音声で受けるか、電子メール通知で受けるかを指定することができます。

Advanced View を起動し、次の Pod/Alerts Settings タスクを実行します。各タスクに対応するアイコンは、Configuration ペインの Pod/Alerts Settings 領域にあります。

1. Alert Actions タスクを開きます。**Alert Actions** アイコンをダブルクリックし、[Alert Action Configuration] ウィンドウを開きます。
2. **Add...** をクリックして [Select Alert Action] ウィンドウを開き、**Play Audio Alert** を選択してから **OK** をクリックして [Add Alert Action] ウィンドウを開きます。
3. **Alert Action Name** フィールドに該当のアラートアクション（例、「Play Audio Alert」）の名前を入力します。
4. **Output Device** ドロップボックスから該当する Camera Pod を選びます。必要であれば **Volume%** も設定してください。
5. **OK** をクリックして [Add Alert Action] ウィンドウを閉じ、続行します。設定したばかりのアラートアクションが [Alert Actions] の一覧に入っているはずです。
6. 既定のアラートアクションの一覧から **Primary E-mail Notification** を選び、**Edit** をクリックします。
7. **Include a sound clip with the alert** のチェックマークをオンにします。これにより、電子メールアラート通知にカメラ画像が含まれている場合は、音声クリップも一緒に送られるようになります。電子メール通知のファイル容量が大き過ぎて処理に困る場合は、後にこのオプションを無効にすることもできます。
8. **Add...** をクリックして [Add E-mail Address] ウィンドウに電子メールアドレスを入力し **OK** をクリックします。
9. **OK** をクリックして [Edit Alert Action] ウィンドウを閉じ、続行します。
10. **OK** をクリックして [Alert Action Configuration] ウィンドウを閉じます。

アップグレードオプション

ソフトウェア機能のアップグレード

使用機器の BotzWare は、Advance View の Upgrade タスクでアップグレードすることができます。次のソフトウェアパックを機器に追加できます。

- Advanced Software Pack、これには次の機能が含まれます。
 - カメラ画像のマスキングをブロックアウト
 - クリップ電子署名
 - オーディオ機能強化
 - 機器ロケーションの詳細情報
 - 定義可能なユーザ／ユーザ機能の追加



注：このパックの機能は NetBotz 550 の標準機能です。

- 5 Node Scanner/IPMI Pack、このパックでは IPMI と SNMP のスキャナ統合機能が提供されます



注：機器をアップグレードすると、接続されているポッドも自動的に更新されます。ネットワークで複数の機器を運用している場合は、機器全機でアップグレードを実行する必要があります。アップグレード中はデータ参照ができなくなります。

ハードウェアのアップグレード

NetBotz 機器のハードウェアは次の方法でアップグレードできます。

- NetBotz 機器に、Camera Pod 160、Sensor Pod 150、Sensor Pod 155、CCTV Adapter Pod 120 を追加する
- 機器の USB ポートに、サポートされている USB モデムを追加する
- 機器の USB ポートに、サポートされている USB デジタル／IO デバイスを追加する
- 機器に、サポートされている USB ／シリアルポートデバイスを追加する



注：NetBotz Room Monitor 455 は、NetBotz Sensor Pod 120 と NetBotz Camera Pod 120 をサポートしています。

機器にポッドを追加する

NetBotz Room Monitor 455 は下記のポッドをサポートしています。

- Camera Pod 120、CCTV Adapter Pod 120、カメラを組み合わせて合計 2 台まで。
- Sensor Pod 150、Sensor Pod 155、Sensor Pod 120、および 4-20mA Input Pod 120 の組み合わせで合計 2 台まで。

Camera Pod、Sensor Pod 120、4-20mA Input Pod 120 は機器の USB ポートに直接接続できます。または、機器に USB ハブを取り付けてからそのハブにポッドを接続しても構いません。ハブをデージーチェーンで接続してそのハブにポッドを接続することもできます。ただし、この場合にはデージーチェーン構成の 5 番目以内にポッドを接続する必要があります。



注：電源要件を満たすため、Camera Pod 120、Sensor Pod 120、CCTV Adapter Pod 120、4-20mA Input Pod 120 は、**必ず**機器の USB ポートに直接取り付けるか、もしくは外部電源からの給電による USB ハブに取り付けてください。RS232 ベースのセンサやデバイスを USB ハブに接続することもできます。

機器にポッドを接続すると、この機器は **Basic View** と **Advanced View** 両方のインターフェイスの **Navigation** ペインに自動的に表示されるようになります。新しく追加されたポッドは、ポッドのタイプとシリアル番号別に分類されます。

分類表示されたラベル名は、ポッドを追加した後に **Basic View** または **Advanced View** で変更できます。

- CCTV Adapter Pod 120 の場合は、接続したら使用の前に追加設定を行う必要があります。



詳細については、「CCTV Adapter Pod 120 のインストールと環境設定」(ページ 27) を参照してください。

- 一度接続したポッドを取り外した場合、**Advanced View** の **Navigation** ペインにある該当項目はグレー表示になります。ポッドを再び接続すれば、**Navigation** ペインのグレー表示は有効な状態に戻ります。

CCTV Adapter Pod 120 のインストールと環境設定

CCTV Adapter Pod 120 をインストールするには、ビデオソースをポッドにある適切な DIN、BNC、または RCA ビデオ入力ジャックに接続します。USB ケーブルを使用して、NetBotz 機器、または機器に接続した USB ハブにポッドを接続します。USB ケーブルからの高周波ノイズと放出を低減するため、USB ケーブルのポッド接続側の端から 51 ～ 76 mm 以内にクランプ式フェライトを一個、さらに機器または USB ハブ接続側の端から 51 ～ 76 mm 以内の USB ケーブルに 2 番目のクランプ式フェライトを取り付けます。

CCTV Adapter Pod 120 とビデオソースを機器に接続したら、Advanced View を介してポッドの環境設定を行います。

ポッドは以下の手順で設定します。

1. Advanced View を開きます。Appliance のドロップダウンリストから、CCTV Adapter Pod 120 接続先の機器の IP アドレスを選びます。管理者権限のあるユーザアカウントを使用して機器にログインします。ログインしたら、接続したばかりの CCTV Adapter Pod 120 が Navigation ペインに表示されていることを確認します。CCTV Adapter Pod 120 のデフォルトのラベル名は、CCTV Video Pod *serial* です (*serial* の部分はこのポッドのシリアル番号に相当します)。
2. Configuration ボタンを選択し、Camera Pods アイコン (Configuration ペインの Pod/Sensor Settings の部分にあります) をダブルクリックします。
3. Camera Pod Configuration ペインの CCTV Adapter Pod 120 に相当する項目を選び、**Capture** をクリックします。
4. [Camera Capture Settings] ウィンドウが開きます。このウィンドウで Camera Pod 120 の環境設定を行う際に表示される各フィールドに加えて、CCTV Adapter Pod 120 の環境設定では次のもう一つのフィールドが表示されます。
 - **Video Format** : ビデオソースにビデオを送信する際の形式をここで指定します。選択肢には、NTSC-M、NTSC-Japan、PAL-B、PAL-D、PAL-G、PAL-H、PAL-I、PAL-M、PAL-N Combination、および SECAM があります。
5. [Camera Capture Settings] ウィンドウから、該当ポッドで使用するカメラと画像キャプチャの設定を行います。現時点で選択されている **Video Format**、**Brightness**、**Contrast**、**Image Quality** の設定が使用された画像キャプチャの例を参照するには、**Apply** をクリックしてください。[Capture] ウィンドウのサンプル画像が新しい設定値に従って更新されます。画像の例を確かめたら **OK** をクリックして変更値を機器に保存します。

Advanced View Cameras ペインにビデオソースが表示されているはずです。環境設定が完了したら、このビデオソースも Camera Pod 120 の場合と同様に使用できます。

USB モデムの接続

サポートされている USB モデムを機器に接続すると、機器のネットワーク通信機能を高めることができます。この機器と併用できる USB モデムは以下のとおりです。

- MultiTech[®] MultiModem[®] GPRS
- MultiTech MultiMobile[™] USB
- Option GlobeSurfer[®] iCon

USB モデムを、機器、または機器に接続した USB ハブのいずれかに接続します。このモデムが機器でシリアルポートとして認識されたら、Basic View の *Setup* 画面または Advanced View の *Serial Devices* タスクを使用して、シリアルポートに関連づけられているモデムを指定します。モデムの機種を指定したら、Advanced View の *PPP/Modem* タスクで機器を PPP 通信用に設定します。

USB モデムをアンインストールしたい場合は、Advanced View の *Serial Devices* タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

USB デジタル／IO デバイスの接続

サポートされている USB デジタル／IO デバイスを機器に接続すると、機器に接続できるドライ接点センサの数を増やすことができます。機器と併用できる USB digital I/O デバイスは以下のとおりです。

- Sealevel[®] SeaLINK PIO-48 (48 のデジタル I/O 接続を追加)
- Sealevel Seal/O 462U (96 のデジタル I/O 接続を追加)
- Sealevel Seal/O 463U (96 のデジタル I/O 接続を追加)
- Sealevel Seal/O 450U (96 のデジタル I/O 接続を追加)

機器に USB デジタル I/O デバイスを接続するには：

1. 機器の電源をオフにします。
2. USB デジタル I/O デバイスを、機器、または機器に接続した USB ハブのいずれかに接続します。
3. 機器に電源を投入します。
4. 機器の起動処理が完了すると、デジタル I/O デバイスの電源は、機器のシリアルポートで認識されます。Basic View の *Setup* 画面または Advanced View の *Serial Devices* タスクを使用して、シリアルポートに関連づけられているデジタル I/O デバイスを指定します。
5. Advanced View の *Dry Contacts* タスクで、デジタル I/O デバイ스에 接続したドライ接点センサの環境設定を行います。

USB デジタル I/O デバイスをアンインストールしたい場合は、Advanced View の *Serial Devices* タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

APC Switched Rack PDU の接続

APC Switched Rack PDU の 79xx 機種を使用機器に接続するには、USB-to-Serial Cable（製品番号：NBAC0226。APC ならびに APC 販売店からお求めいただけます）を、Rack PDU に付属の RJ-12-to-DB9 serial cable（940-0144A）に接続します。USB / シリアルケーブルを、機器、または機器に接続した USB ハブのいずれかに接続します。

USB / シリアルケーブルを機器に接続したら、使用機器と併用するために Rack PDU をこの RJ-12 / DB9 シリアルケーブルに接続します。

サポートされている APC Switched Rack PDU 現時点では、ファームウェアバージョンが 2.74 またはこれ以前の APC Switched Rack PDU がサポートされています。

インテリジェント電源タップのインストール USB / シリアルケーブルのシリアルポートにインテリジェント電源タップを取り付けます。Basic View の *Setup* 画面または Advanced View の *Serial Devices* タスクを使用して、いずれのシリアルポートベースセンサを機器に接続したかを指定します。

インストールが完了すると、このデバイスに関連づけられているセンサの読み取り値が Basic View と Advanced View に表示されます。

インテリジェント電源タップをアンインストールしたい場合は、Advanced View の *Serial Devices* タスクを用いて当該デバイスを削除してください。

外部センサの接続

外部センサを接続するには、センサを Sensor Pod 150、Sensor Pod 155、または Sensor Pod 120 のいずれかの空いている External Port に接続します。



注： Sensor Pod 120 にセンサを接続する場合は、センサポッドのシリアル番号（ポッド背面にあります）とポッドの External Port についている番号の両方を必ず記録しておいてください。後に、Sensor Pods タスクを介して機器の環境設定を行う際にこの情報が必要になります。External Port の番号はポッドのポートの上に印刷されています。

NetBotz 120 Sensor Pod ユニットのメス型コネクタはバージョン 2 タイプの NetBotz DIN 標準コネクタであるため、バージョン 2 タイプのオス型 NetBotz DIN Sensor Cable しか受け付けません。新しいバージョン 3 タイプの製品では標準の RJ-45 コネクタが使用されています。

外部センサケーブルの長さが足りない場合は、Extension Cable for External Sensor（APC 販売店から 15 m 長または 30 m 長のいずれかをお求めください）を使用してケーブルを延長してください。

外部センサのインストールが完了したら、外部センサを使用できるよう、Sensor Pods タスクを介して機器の環境設定を行ってください。機器の環境設定が済むと、Navigation ペインで温度センサの接続先のポッドを選択したときに、Sensor Data ペインに該当の温度センサが表示されるようになります。Advanced View の *Sensor Pods* タスクを介して、この外部センサのしきい値を指定してください。

NetBotz 455 の手入れ

乾いた清潔な布でデバイスの表面を静かに拭いてきれいにしてください。

仕様

電気仕様

定格入力電圧	48 VDC (Power-over-Ethernet (PoE))
最大消費電力	15 W

物理仕様

サイズ (H x W x D)	210 x 170 x 95 mm (8.38 x 6.75 x 3.75 in)
質量	0.64 kg (1.40 lb)

環境基準

高度 (平均海面以上)	
動作時	0 ~ 3,000 m (0 ~ 10,000 ft)
保管時	0 ~ 15,000 m (0 ~ 50,000 ft)
温度	
動作時	0 ~ 45°C (32 ~ 113° F)
保管時	-15 ~ 65° C (5 ~ 149° F)
相対湿度	
動作時	10 ~ 90%、結露なし
保管時	10 ~ 90%、結露なし

適合規格

電磁波耐性／放射	CE、FCC パート 15 クラス A、ICES-003 クラス A、VCCI クラス A、EN 55022 クラス A、EN 55024、AS/NZS CISPR 22
----------	---

保証および生命維持について

2 年間の工場保証

本保証は、購入された製品を本書に従って使用した場合にのみ適用されます。

保証の条件

APC は、お客様のご購入日から 2 年間、製品に原材料や作業工程の欠陥がないことを保証します。APC は本保証の対象製品の欠陥を修理または交換するものとします。その他の損害、たとえば事故、過失、操作誤り、または製品の改竄などによる損傷に対しては、この保証はいっさい適用されません。本項に記載の欠陥製品または部品の修理や交換により元の保証期間が延長されることはありません。本保証下で供給される部品は、新品または工場で再製造されたものである場合があります。

第一購入者の保証

本保証は製品のユーザ登録を行った購入者にのみ適用されます。製品のユーザ登録は、APC の Web サイト (www.apc.com) で行うことができます。

除外

申し立てられた製品の欠陥が APC のテストまたは検査の結果存在しないと判明された場合、あるいはお客様または第三者の誤用、過失、不適切な設置、テストによるものであることが判明した場合、APC は保証下での責任を負わないものとします。さらに、欠陥が承認されていない修理または変更の試み、電源電圧または接続の誤用または不適合、不適切な実地運転環境、侵食性の外気、外環境への被曝、不可抗力、火災、盗難、または APC 推奨 / 指定の方法に反する設置によるものである場合、APC シリアル番号が改竄、摩損、消去された場合、あるいは意図された使用の範囲を超えるその他の原因によるものである場合は、APC は保証下での責任を負わないものとします。

この契約に基づき、またはここに記載された条件に同意の下で購入、サービス、設置をした製品に対し、法律の運用その他により明示的または黙示的に適用される保証事項はありません。APC は、製品の市場性、満足度、特定の目的に対する適合性に関する黙示的な保証についてはすべてその責任を負わないものとします。本製品に関して APC が提供する技術面その他のアドバイスまたはサービスによって APC の明示的な保証が拡大、縮小、または影響を受けることはなく、またかかるアドバイスやサービスからはいかなる義務または責務も派生しないものとします。以上の保証および賠償は限定的なものであり、その他の保証や賠償すべてに代わるものです。上記の記載の保証が当該保証のあらゆる不履行に対する APC の唯一の責務であり、購入者の法的救済です。APC の保証は購入者のみに適用され、いかなる第三者にも拡大適用されません。

いかなる場合も、製品の使用、サービス、または設置から生じたいかなる間接的、特別、結果的、懲罰的損害についても、その損害が契約の記述または不法行為のあるなしを問わず、過失または怠慢、厳格責任に関係なく、APC が事前にそのような損害の可能性を通知したかどうかに関わらず、APC、同社幹部、取締役、支社、従業員はその責任を負わないものとします。特に、利益損失、収入損失、機器の損失、機器の使用機会の損失、ソフトウェアの損失、データの損失、交換の代価、第三者による代価要求などのあらゆる代価に対して APC は責任を負わないものとします。

APC の販売担当者、従業員、または販売代理店は本保証の条項を追加または変更する権限はありません。保証の条件は、たとえ変更される場合も、APC の役員と法務部の署名により書面によってのみ変更可能です。

保証の請求

保証を請求する事項がある場合は、APC の Web サイト www.apc.com/support のサポートページを参照して APC カスタマサポートネットワークにご連絡ください。ページ上部の国選択プルダウンメニューから該当する国を選び、[Support]（サポート）タブを選択すると、お住まいの地域のカスタマサポートのご連絡先が記載されています。

電波障害



責任のある機関によって明示的な承認を受けずに改変すると、本製品の利用権利が取り消される可能性があります。

USA—FCC

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with this user manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference. The user will bear sole responsibility for correcting such interference.

Canada—ICES

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Japan—VCCI

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may occur, in which case, the user may be required to take corrective actions.

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるように要求されることがあります。

Taiwan—BSMI

警告使用者：

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

Australia and New Zealand

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 89/336/EEC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. APC cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from an unapproved modification of the product.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to CISPR 22/European Standard EN 55022. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide a reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

APC ワールドワイドカスタマサポート

APC 製品の無料カスタマサポートは次のように提供されています。

- APC の Web サイトにアクセスすると、FAQ や APC Knowledge Base の資料を参照したり、カスタマサポートへの要望を送信することができます。
 - www.apc.com (本社)
 - www.apc.com/support/
グローバルサポートには、FAQ、Knowledge Base、e-support があります。
- APC カスタマサポートには電話または電子メールで問い合わせることもできます。

日本 03-5434-2021 受付時間：月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:00

(ただし、祝祭日、弊社の定めた休日を除く)
E-Mail : jinfo@apcc.com

お住まいの地域のカスタマサポートについては、APC 製品を購入した APC 営業担当または販売店にお問い合わせください。

Entire contents copyright © 2009 American Power Conversion. All rights reserved. 許可を得ずに、本製品の全部または一部を再製することは禁止されています。APC、APC ロゴ、Symmetra、PowerStruXure、NetShelter は American Power Conversion Corporation の商標であり、関連当局に登録されている可能性があります。その他の商標、製品名、社名はすべて所有者各位の所有物であり、これらは情報提供の目的でのみ使われています。



990-3295C-018



01/2009